



Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

プロストリンガーでのテニスラケットのストリング方法は、まず下記ページから動画をご覧ください。ただし、全体の流れをご確認ください。

<http://www.tennisprostringer.com>の左下にある**Watch the demo video** のプレイマークをクリックして下さい。

Section 1 - Pro-Stringer の設置

1.		<ul style="list-style-type: none">• プロストリンガーのキャリーバッグから中身を取り出して作業テーブルの上に並べて下さい。• 左写真のように、テーブルクランプを作業テーブルの中央付近に固定して下さい。
2.		<ul style="list-style-type: none">• マウント支柱のボルト部をテーブルクランプのナットに差込み、マウント支柱を回して固定して下さい。
3.		<ul style="list-style-type: none">• 左右2本の回転式ラケット支持アームを合体させ、マウント支柱の突起部に差し込んで下さい。そして、ラケット支持アームがなめらかに回転することを確認して下さい。• 両端の、ラケット固定ネジと上部固定プレートを取り外して下さい。







Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

4.		<ul style="list-style-type: none"> ラケットを回転式ラケット支持アームに取り付けます。この時、左の写真のように、ラケットのスロットがあるボトム側をアーム長さ調整ネジがある方に、ラケットのトップ側をアーム長さ調整ネジのない方にセットして下さい。 アーム長さ調整ネジを回転させて、ラケットフレームの内側に下部固定プレートがピッタリとつくように、アームの長さを調整して下さい。
5.		<ul style="list-style-type: none"> 回転式ラケット支持アームの両端のボルトに上部固定プレートをはめて下さい。この時、上部固定プレートのアールの付いている方がいずれも外側になるようにセットして下さい。 ラケット固定ネジを取り付け、ラケットが動かないように固定して下さい。これで、ラケットの設置が完了しました。
6.		<ul style="list-style-type: none"> プロストリンガー本体のテンション調節ツマミでストリングの張力(テンション)を調節します。テンションはポンド表示になっています。 指示部をテンションゲージに合わせて、テンションをセットして下さい。
7.		<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターのプラグをプロストリンガー本体に差し込んで下さい。この時、差し込める方向は上下一方向のみです。スムーズに挿入できる方向に差し込んでネジを回して固定して下さい。 電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。 注意: プラグはベースの丸形プラグ(カテゴリーE型ヨーロッパタイプ)に日本仕様の変換プラグを差し込んで使用して下さい。

Section 2 -ラケットのストリング-「メインストリング」

- メインストリング(縦糸)とクロスストリング(横糸)のそれぞれのストリングに必要な長さを計測します。
- 注意:ストリングの方法にはワンピースストリングとツーピースストリングの2種類があります。ワンピースストリングはメインストリングの後にクロスストリングを1本のストリングで続けて張っていく方法です(結び目=ノットは2個になります)。一方ツーピースストリングはメインとクロスストリングをそれぞれに張っていきます。ストリングはメイン用とクロス用の2本を使用します(結び目=ノットは4個出来ます)。最近のラケットは大半がツーピースストリングになっています。ここでもツーピースストリングの方法で説明していきます。

1.



- まず、真ん中の2本のストリングをラケットフレームのストリングホールから、反対側のフレームに通します。
- 反対側のフレームに通したストリングの両端を引っばって左右のストリングの長さを同じにします。

2.



- 幅が広い方のクランプ(厚型フライングクランプ)で真ん中の2本のストリングL1とR1の中央部を両方ともクランプします(はさみます)。(L1=メインストリングの真ん中から数えて左側の1番目、R1=メインストリングの真ん中から数えて右側の1番目)
- 続けて、左右のストリングをそれぞれの左右にあるストリングホールから相対するストリングホールに通していきます。
- 注意:動画の手順はメインストリングを左右とも通しておいた上で、テンションをかけていく方法をとっていますが、左右交替代に一本ずつストリングホールに通しながらテンションをかけていく方法でストリングをして頂いても結構です。



Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

<p>3.</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左図のように L2のストリングにテンションをかけていきます。 • プロストリンガー本体のセンサー口金部を L2のストリングが通っているフレームのストリングホール外側にピッタリとセットします。
<p>4.</p>		<ul style="list-style-type: none"> • センサー口金から、ロータリーテンションヘッドの溝にストリングを通し、次にブルーのテンションボタンを押します。
<p>5.</p>		<ul style="list-style-type: none"> • ロータリーテンションヘッドが回転しストリングを引っぺがります。 • ロータリーテンションヘッドの回転が止まり、同時に LED ランプが点灯してテンションがかかりました。
<p>6.</p>		<ul style="list-style-type: none"> • テンションをかけたまま、もう一つの薄型フライングクランプで L1と L2のストリングを出来るだけラケットのフレームに近づけてクランプします。 • クランプがストリングのテンションを保持していることを確認して下さい。 • 再び、青いテンションボタンを押すとロータリーテンションヘッドが逆回転し元の位置に戻ります。そこでストリングをロータリーテンションヘッドからはずします。

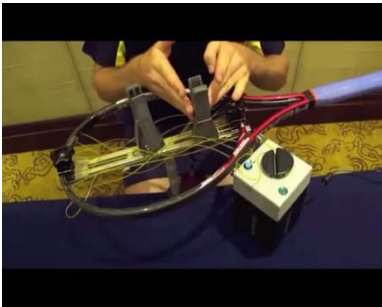


Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

7.		<ul style="list-style-type: none"> ラケットを回転させて次のストリングのテンションをかけていきます。左図は前述の3～6のステップを繰り返してL3のテンションをかけています。 これらのステップを繰り返して、ラケットの左サイドの次に右サイドという具合に交互にメインストリングを張ってしまいます。 注意:ラケットを回転しながら、左右交互にメインストリングを張って下さい。
8.		<ul style="list-style-type: none"> 全てのメインストリングのテンションをかけ終わったら、左右のメインストリングをハーフヒッチノットという結び方でノット(結び)します。 ノット(結び)の作り方はhttp://www.tennisprostringer.comの左下にあるWatch the demo videoのプレイマークをクリックしていただき、動画でご確認下さい。 結び終わったら、1cm程度を残して余ったストリングをカットします。
9.		<ul style="list-style-type: none"> クランプをはずします。 これでメインストリングが張り終わりました。

Section 3 -ラケットのストリング-「クロスストリング」

1.		<ul style="list-style-type: none"> クロスストリングはまず、ラケットのトップ側にあるクロススタートホール(すでにストリングが張り上げているラケットはホールが大きくなっています。)にハーフヒッチでノット(結び)を作ることから始めます。 クロスストリングは直角に交わるメインストリングの上から通したら次は下からと、メインストリングに対して上下交互に通していきます。 最初のクロスストリングを相対するストリングホールに通し終えたら、メインストリングの時と同様の手順でストリングにテンションをかけます。(この時にかけるテンションはクロスストリングのスタートホールで作ったノットをきっちりと締めるためであり、クランプでテンションを保持しません。ノットがきっちりと締まったらロータリーテンションヘッドを逆転させて元に戻し、2本目のストリングを通していきます。)
2.		<ul style="list-style-type: none"> 2本目のクロスストリングもメインストリングに対して上下に通していきますが、1本目のクロスストリングに対しても上下反対に通していきます。つまり、1本目のクロスストリングがメインに対して上側だとすれば、2本目のクロスストリングはメインに対して下側でなければなりません。 2本目のクロスストリングにテンションをかけます。(1本目と2本目は同時にテンションがかかります。)
3.		<ul style="list-style-type: none"> プロストリンガー側のラケットフレームに出来るだけ近づけて1本目と2本目のクロスストリングを同時にクランプします。



Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

4.		<ul style="list-style-type: none">• クロスストリングを一本ずつ通してテンションをかけてと進んでいく方法と、先にクロスストリングを可能な限り通してしまってから、まとめて一本ずつテンションだけをかけていく方法があります。• 注意: ラケットを回転させて、それぞれのストリングにテンションをかけていきます。
5.		<ul style="list-style-type: none">• 全てのクロスストリングにテンションをかけ終わったら、プロストリンガー側のラケットフレームに出来るだけ近づけてクランプして下さい。
6.		<ul style="list-style-type: none">• プロストリンガーの青ボタンを押してストリングをはずして下さい。• クロスの結びのホールにハーフヒッチでノットを作ります。
7.		<ul style="list-style-type: none">• ノットが出来たら、クロスストリングのトップ側とボトム側の余ったストリングを1cm程度残して切りとります。• 張り終わったストリングの蛇行をメイン・クロス共、手で整列させてください。




Pro-Stringer Tennis

Quick Start

Stringing Instructions

「ストリング方法」クイックスタートガイド

8.		<ul style="list-style-type: none">• ラケット固定ネジと上部固定プレートをラケット支持アームの両端のボルトから取り外します。• ラケットをラケット支持アームから取り外します。• 回転式ラケット支持アーム・マウント支柱・テーブルクランプを取り外して、プロストリンガー本体と共にキャリーバッグの所定の位置に収納します。
----	---	--

参考までに

- ストリングのテンションはコートやボールの種類・天候・プレースタール等々の多くの要素から影響を受けます。初めのテンションは 52 ポンドをお薦めします。そして、これらの多くの要素があなたのゲームに対する影響を理解してからテンションを調整して行って下さい。
- 一般的に
 - より早いコート・ボールやプレイコンディションで、より高度なコントロールを要求される場合には、いつもより強いテンションで張るのが適切と言われています。
 - より遅いコート・ボールやプレイコンディションで、より強いパワーを要求される場合には、いつもより弱いテンションで張るのが適切と言われています。
- もしあなたがラケットのストリングを計画されるのなら、早いに越したことはありません。なぜならラケットのストリングのテンションはその間も落ち続けているからです。

Enjoy your Tennis

